



# イソブキ便り

NO.1~6まではホームページをご覧ください

NO.7 平成26年度 上半期号

須佐連絡先 080-3458-0925 / 0557-23-3501 mamo@knossos.jp



## 「みなみいず暮らし現地セミナー」に参加しました！

NPO法人伊豆未来塾さんと南伊豆町が共同で開いたセミナーに参加しました。これは、移住希望のある方たちへ田舎暮らしの良さを伝えるセミナーで、今回が6回目だそうです。

伊豆未来塾の皆さんは、代表の石川さんをはじめ移住者の方が多く活動しています。そして、活動を支えるのが地域おこし協力隊の2人です。地域おこし協力隊は総務省の事業で、過疎化が進む地方において、都会などに住む人材を積極的に誘致して、弱ってきている地域住民の活動をサポートしてもらうのを目的としています。



今回のイベントには16名の方が参加し、地元の新聞社やテレビ局、県職員など多くの方が取材に来ていました。

移住定住、観光情報、地域の情報など、情報発信も大きな仕事です。それと、今回、担当課の職員として同行してくれたのが埼玉県出身の若手で、南伊豆が好きで移住して、職員採用試験を受けたらパスしたということです。

どこの出身者でもいい、この町が好きだからこの町に住みこの町のために働く、それが普通だと思えます。私は東伊豆町の住所規定に反対です。



毎週土曜日だけ営業しているこだわりのパン屋さんのオーナー-島崎さんは、山を切り開いて家を建てました。

未来塾さんの場合、農業を生業として越してくる方を中心に探しているとのことでした。これは休耕地をどうしようという問題があって東伊豆町も大きな問題を抱えています。南伊豆町では空き家についても

早くに調査を開始し、空き家バンクを立ち上げました。東伊豆町も来年からぼちぼち始まっています。(4/19)



今回のセミナーで思ったのは、移住者がどうやって生計を立てるかという点。やはり、雇用を創ることが大切です。

## 「石部の灯り」に感動

松崎町の「石部の棚田」でライトアップイベントがありました。観光地のイベントって、よく打ち上げ花火的な...と嘲笑されます。大きなイベントは、たくさんの人を集めることはできませんが、代償も大きく効果が図れません。

熱川温泉では毎月のキャンドルナイトを始めて1年以上たちますが、スタッフに支えられて着実に評判が広まっています。「お金が掛からないイベントほど苦労が絶えない...」自

分ではそういう方程式を持っていましたが、多くの人がかかわることで決まってきた気がしています。(5/25)



幻想的な光に包まれる石部の棚田。首都圏からも見学に来ていました。短時間でしたが手伝わせていただきました。今年も収穫祭が開かれ、多くの人でにぎわっていました。

## 6月6日から7日にかけて 豪雨に見舞われる

6月6日から7日にかけての豪雨はすごいものでした。地域によっては6月一カ月分の雨が降ったところもあったようで、梅雨時の一カ月分だから相当な雨でした。伊豆もかなりの降水量が記録され、雨に慣れたこな私も朝起きた時の川の轟音は、ただ事ではない予感がありました。

すぐに近所を回りましたが、幕木山から下り落ちた雨は濁

# 総務経済常任委員会 副委員長

議会広報編集委員会 議会運営委員会  
東河環境センター議会 健保運営協議会(副会長) 社会教育委員会  
交通安全対策委員会 給食センター運営委員会

ご声援ありがとうございます！  
スサノオが町に新風を巻き起こします！



川を一気に濁流に変え、支流から集めた雨水は温泉場を流すほどの勢いでした。河川の管轄は県になるので、町は取次になるけれど、避難準備、避難勧告等、防災の通報は町の総務課なので、危険を感じたらすぐに役場に連絡してもらいたいと思



奈良本の簡易郵便局横の橋から熱川方面に流れる濁流。天城山には5日の降り始めから約600mmの雨が降った。

います。(6/7)

## 六月定例会傍聴しました

6月に入って、賀茂郡では定例会が始まりました。今月は時間を見つけて他市町の議会を傍聴しています。まずはじめは西伊豆町議会、驚いたのが傍聴席が満席！ビックリです。ケーブルテレビなどの放送がない

皆さんが関心を持って議会に参加しているという印象です。10日は南伊豆町と松崎町にお邪魔しました。各町それぞれ抱える問題は違いますが、共通する点も多くあります。

下田市は一市五町の賀茂郡にあつて「扇の要」です。防災の問題、少子高齢化の問題、観光の低迷等この地域で抱える問題は同じ。共通の問題意識を持って議会に臨みました。

庁舎の移転問題やふるさと納税に関しては議論が交わされました。私も9月議会ではこの件を取り上げたいと思っています。そのほか、公共交通や、空家対策、耕作放棄地の問題、どれもこの地域に共通している問題です。

## 文化クラブの講師役です

今日は小学校で文化クラブの先生をやってきました。前回は和歌について少し話をし、いよいよ俳句に入っていきます。と言っても小学校の4年5年です。ちよつと楽しく季節のカルタで勉強です。

話は変わって、小中時代にバスケットを教えていた子が(子)と言っても大学4年になっていてビックリ)中学校に教育実習に来ていると聞き行ってみました。そしたら部活に顔を出して一緒に汗を流していました。



文化クラブでは毎年俳句コンテストに作品を出しています。今年は、町の文化祭に出店する予定です。

明日、大切な大会があるのとことで、中学生は必死になって練習していました。(6/13)

## 怒涛の6月定例会！

平成26年6月定例会に質問に立ちました。今回は、各市町で傍聴した経験をいかし自信を持って臨みました。

内容としては、直前に発表された日本創成会議・人口減少問題検討分科会の報告をうけて、

地域活性化の問題。一向に好転する兆しが見えない町内景気の問題。SNS導入の検討と課題、職員の情報発信について質しました。詳しくは議会だより、須佐まもるホームページをご覧ください。(6/20)

## 下田青年会議所

### 45周年特別事業

下田青年会議所45周年特別事業が役場1階の大会議室でありました。賀茂郡の1市5町すべて巡回展示を行い、講演会も実施して今日が最後の開催日となりました。

展示されている写真を見て、あらためて震災の恐ろしさと悲劇、そしてその悲劇は繰り返しているなど実感しました。



政治的な解決は予算をばらまく決定だけではないはず。大所高所に立って被災地の今後を考えてもらいたいですね。



・新人議員として町のため、伊豆半島のために奮闘します (ノ^ ^)ノ  
 ・詳しい内容は、須佐まもるホームページ、ブログ、議会だよりをご覧ください。

スサノオがこの町にひそむ八岐大蛇 (防災・医療福祉・観光・商工・農林水産・教育・雇用・行政改革の諸問題) に取り組みます \(\*´`)/



もう3年、まだ3年、3年経ってやっと復興への道が拓けて来たかに見えますが、実は進んでいないと佐々木さんはおっしゃってました。復興より先に五輪のインフラがどんどん進むのはなぜでしょうか。

地方が絶望的な状況なのをどれだけの国会議員が分かっていますか？もっと真剣に地方に住む人の生活を考えてもらいたいです。(7/27)

### かもこの国「ふれあい一人旅」

今日は一日、賀茂郡を旅しました。「ふれあい一人旅」です。まず最初は、南伊豆の水産教室。町内の小学5・6年生が、漁協の若手諸君から海のことを学びました。

続いて、加納の桃源郷で育てられている万葉のハスを見学に行きました。

こちらを管理している池野哲也さんは、20年ほど前に不法廃棄物に埋もれた山を片づけ、休耕地を蓮田にしたということ。以来、その蓮の美しさを見に来る方はたえません。

今では、蓮田を広げる取り組みを出張で行っているそうです。



蓮を見るといつも芥川龍之介の「蜘蛛の糸」を思い出します。痛ましい事件が毎日のように聞かれる昨今、蓮の花は何かを問うているように感じます。

午後は松崎町に向かいました。こちらでは棚田の稲が夏の陽を浴びて穂を吹いています。「棚田風」に包まれて、最高の気分です。実はいま福島から被災者の家族の方が保養に来ています。今年で3回目ということですが、20名ほどの皆さんが伊豆の夏を楽しんでいます。

あるお母さんとお話をさせてもらいましたが、線量計をいつも持っていて、伊豆に来て測ったところ、異常に低い？ので驚いたとのこと。まだまだ震災は終わっていないという現実です。



変に「福島の子」という見方をするのはどうかと思いますが、温かく見守ってきたい、日本人として助けてあげたいと、純粋に思います。

その後、西伊豆町の宇久須で、地域の方たちが力を合わせてヒマワリを育てている現場を見させてもらいました。

休耕地を有効利用する取り組みとしてあらためて地域の力を見たと思います。

そして、今回の旅の終着点は、黄金崎です！賀茂は広い！(7/29)



東伊豆で朝日を見て、西伊豆で夕陽を見て1日終了です。日帰り旅行ですが、とても収穫の多い旅でした！出会ったみなさん、ありがとうございました<m(\_)\_m>

### ペリーロードの キャンドルナイト

下田ペリーロードの「キャンドルナイト」を見学しました。最近キャンドルイベントが多くなっている気がします。どこも財政難で観光イベントに予算が裂けない中、キャンドルはお金をかけずに見るものを引き付ける力があります。

熱川温泉でも2年ほど前からやっていますが、徐々に浸透してきています。まさに、花火は「ぱーん」とあげればとてもきれいですが、一瞬で消えてしまいます。その点キャンドルは時間をかけてじっくり地域の魅力が伝わっていく気がします。(8/3)



ペリーロードのキャンドルはセロハンに願いごとや絵などを書いて貼ります。明かりに照らされてキレイでした(\*^\_^\*)ノスタッフの皆さん、ご苦労様でした！

**【所属委員会】 議会広報編集委員会 議会運営委員会 東河環境センター  
議会 健保運営協議会(副会長) 社会教育委員会 交通安全対策委員会  
給食センター運営委員会**

後援会大募集!



- ・新人議員として町のため、伊豆半島のために奮闘します (ノ^ ^)
- ・詳しい内容は、須佐まもるホームページ、ブログ、議会だよりをご覧ください。
- ・Facebook / Twitter @MamoruSusa HP [http://knossos.jp/giin\\_mamoru/face1.htm](http://knossos.jp/giin_mamoru/face1.htm)

**「発達障がい議員連盟」  
研修会**

今日は、発達障がい議員連盟の研修会がありました。今年4月の総会に続き2回目の集まりとなりました。県東部市町議員と保護者など家族の方を集めて200名ほど参加し、有意義な会となりました。



静岡県のセンター長さんのお話によると、知的障害を伴わない成人からの相談が増加傾向にあるといえます。

静岡県のセンター長さんのお話によると、最近相談件数が増えてきて、知的障害を伴わない成人からの相談が増加傾向にあるといえます。その中の約8割〜9割が自閉症スペクトラムの診断を受けているとのことです。

後半は宇都宮大学教育学部特別支援教育専攻の梅永雄二

先生が、自閉症の方の就労について貴重な話をしてくださいました。まず、日本では障害者というと人口の約6%だそうですが、北欧では4人に1人が障害者ということなんです。それだけ障害に寛容でノーマライゼーションが進んでいるのでしよう。

ひと口に書けないのですが、自閉症の方は一般人が常識として判断できることがわかりづらく、そのことがきっかけで虐待やいじめが多い傾向にあるようです。ですからそのことを雇い主が考えてあげれば就労もできるということなんです。現に、一般の人より正確な仕事ができる場面が数多くあるといえます。(8/28)

**県と共同の総合防災訓練**

本日の防災訓練、非常に熱心な本番さながらの訓練でした。私はまず、一時避難地のJ.Aの集荷場に集合したあと救護所を開設している中学校へ。その後、熱川温泉病院で、トリアージの現場とDMAT

の本部を視察しました。たいへん緊迫感があつて、こういう機会をもっと持つてもらいたいと思いました。



DMATは災害派遣医療チームの略称で、大規模災害などの現場で医療行為を行います。ドラマにもなりましたね。

今回の総合防災訓練は、県や自衛隊、賀茂地区の市町村が協力して行いたいへん大掛かりなものでした。とくに関心があったのは、ら稲取港で行われたホーバークラフトによる観光客の搬出訓練で、これは以前、観光客を逃がすのが観光地としての使命であるとして一般質問をしたことがあります。

その時の答弁は、「イメージが悪くなる...」とのことでしたが、私は逆だと思えます。観光地がしっかり防災訓練をやっているれば安心して訪れること

ができるし、PRもできます。その辺の認識が違うと思いましたが、ちなみに私が行ったときには伊豆市の菊地市長が視察に来てました。(9/17)



この訓練がいつか役に立つ...ことがあってはいけませんが、備えあれば憂いなしということで取り組んでまいります。

緊迫感と言えば町立体育センターで行われた遺体安置所の設営訓練は、思わず息をのむものでした。知り合いの歯科医の方がいて、歯牙鑑定の様子について伺いました。(8/31)



遺体安置所の設営訓練では、警察、葬儀社、各市町担当者なども加わりカメラを向けるのもためらう雰囲気でした。



後援会大募集!

【所属委員会】 総務経済常任委員会 副委員長

・議会広報編集委員会 ・議会運営委員会 ・東河環境センター一部事務組合  
議員 ・健保運営協議会(副会長) ・社会教育委員会 ・交通安全対策委員  
会 ・給食センター運営委員会

【議員連盟】

・東部MICE振興議員ネットワーク ・発達障がいの支援を考える議員連盟



9/29 の最終日に決算審査報告を行いました。人口減少に歯止めをかけ、町がしっかり自主財源を確保することが大切です。

9月議会にて  
決算委員長に就任!

昨日より平成25年度の決算審査を行っております。私は、特別会計の決算委員長になりました。たいへん重要な役回りですので、緊張感をもって当たっております。

住民が利用料を払って運営されるのが企業会計ですが、少子高齢化がかなり進み、地方では国保会計・介護会計ともたいへんピンチです。また、さまざまな理由で料金を支払えない方がいたり、水道など老朽化が進んで、設備そのものを改修するのに莫大な費用が掛かったりと、問題を抱えています。

みんなで在宅医療・介護  
ネットワークを考えよう

「この地域の医療と介護をどうするのか」みんなで在宅医療・介護ネットワークを考えようというテーマのフォーラムに参加しました。比較的重たい話題のフォーラムでしたが、下田の文化会館はほぼ満席でした。



下田賀茂の総合病院の院長さんは、医師不足、それにもまして看護師不足を叫んでいました。そして、少子高齢化を乗り越えて人口減少が激しく進んでいることを憂えていました。

「何とかして移住定住策を！外から入ってくる人を受け入れる土壌づくりを！若者の雇用創出！耕作放棄地に空き家etc...」正直これ政治の問題でしょ。それを医療現場を預かる方に心配されている現状。政治がもっとしっかりしてくてはいけません。(9/18)

県政報告会に来賓出席

日ごろお世話になっている県会議員の高田泰久さんの県政討論会に行ってきました。高田さんは駿東郡南部の清水町と長泉町から選出されています。県政では知事与党の「ふじのくに県議団」の中心として、川勝知事の信頼の厚い方です。川勝知事をはじめ、静岡県選出の国会議員4名が顔をそろえ、お祝いや激励の言葉を掛けられていました。(9/19)



知事と去年の知事広聴以来の再会を果たしました。知事は11月にも東伊豆町にお越しになります。

第2回「からだ会議」開催  
世界の健康保養地提唱へ

団塊世代が後期高齢者世代になるのあたり、大変な医療費が増大の一途をたどってい

ます。そんな中、自分の体は自分で治癒させるという取り組みが様々な方面から起きています。この「からだ会議」は自分の体はどうなっているのか、どうすれば治癒できるのかを全国のごつたい治療家たちによって解決に導いてくれるという取り組みです。



県のファルマバレー構想に手伝って、この町では健康増進事業を推進していくと注目が高くなると思います。

今年も開催するということを直前になって知りました。県から補助金をいただいている取り組みで、とてもいい事業ですから、商工会にももっと広報をしっかりとしたらどうかとアドバイスしました。(9/28)  
そのほか9月は、下田で開かれた「全国農村サミット」に参加させてもらいました。

平成23年6月議会から平成26年9月議会まで14回の定例会がありました。その間、52問の一般質問と6問の大綱質疑をさせていただきました。内容は以下の通りです。

	回数	主な内容
行政改革	13	行政改革大綱、平日閉庁、休日開庁、広告入り公用封筒の作製、「富士山の日」の意味、第五次総合計画、人口増加策、ファルマバレー構想、東部コンベンションセンター、役場の総合案内・コンシェルジュ、NPO法人の設置推進、事業仕分け、町職員の採用試験・住所特例、町長の政治姿勢、男女共同参画推進プラン、ソーシャル・ネットワーキング・サービスのガイドライン、ふるさと納税制度の推進
観光政策	9	誘客対策、けやき公園の活用、グリーンツーリズム、ジオパーク、ソーシャル・ネットワーク・サービスへの対応、「ミス雑のつるし飾り」の活用、「熱川温泉振興計画」の中身、移住・定住の促進、熱川海水浴場の砂不足問題、観光地の防災訓練、大島航路の復活、「東伊豆町温泉郷」のブランド化、東京五輪の合宿誘致、公衆無線LANの構築、入湯税の利用
産業・経済	9	災害融資に利子補給、町有林の有効利用、林業の推進、薪ストーブへの補助、ペレットボイラー、有害鳥獣被害、イズシカ問屋、空き家・耕作放棄地対策、市民農園の整備、地域団体商標、6次産業化、ブランド化、企業や大学・研究機関との連携、稲取キンメの資源保護、かりゆしウェアのすすめ、公募型の助成金制度の創設、スマートフォンアプリの利用
防災	6	国道・県道・町道の崩落状況、湯ヶ岡-赤川線の伸長と大川-中大見バイパスの事業化、コミュニティFMのすすめ、耐震補強、災害ボランティアの本部設置、災害ボランティアの育成、「さくらやまパーク」の防災公園化、災害対策本部機能の移転、第4次地震被害想定、DIGやHUGなどの災害図上訓練、旧ロイヤル跡地の防災センター、土砂災害警戒区域、避難勧告の発令
教育・文化	5	教育費削減、夏休みの短期化、放課後児童クラブ、いじめ対策、学校プール、『東伊豆町の築城石』のデータベース化、石丁場の国・県指定文化財登録、全国学力テスト、不登校児の把握と対応、スクールカウンセラー、図書館運営、通学路の整備、歩道の確保
まちづくり	4	地域づくりインターン事業、まちづくり協議会、温泉熱発電、道路整備、幕木山林道の状況、中山間地域総合整備事業、地域おこし協力隊、田舎で働き隊、バリアフリーのまちづくり、光ケーブル網の整備、「消滅可能性団体」危険度、南伊豆町「くらし現地セミナー」の参考
地域交通	2	自主運行バス、デマンドバス、学生の交通手段、義務教育児童の通学費自己負担、中山間地のアクセス、コミュニティバスの推進
風車問題・景観	2	天目の風力発電施設、景観に対する意識、景観条例、再生可能エネルギー法、風車道路による水害
医療福祉	1	災害拠点病院の設置、特別養護老人ホームの入所希望者把握、特養誘致、介護医療の被保険者数と住所地特例者数、伊豆東部総合病院
水道事業	1	稲取第二中継ポンプ場の事故、湧水の販売事業